

平成３０年度第３４回学習デジタル教材コンクール 「学情研賞」受賞について

学習指導要領の改訂により，平成３２年度から小学校でプログラミング教育が必修化されることから，教員が「プログラミング的思考」等の資質・能力の育成を図りながら，各教科等のねらいを効果的に達成することができるよう，平成２９年度の総合教育センター長期研修専門研究において，「プログラミング教育スタートパック」を開発した。

このツールが，公益財団法人学習ソフトウェア情報研究センター主催の「第３４回学習デジタル教材コンクール」において「学情研賞」を受賞したものである。

今後，本ツールが県内の各学校における校内研修で活用され，児童の情報活用能力の育成が図られるよう，積極的な広報・普及を行っていく。

１ 学習デジタル教材コンクール

(1) 主催者等 主催：公益財団法人学習ソフトウェア情報研究センター
後援：文部科学省

(2) 事業の概要

学校教育におけるデジタル機器の活用を促進するため，教員その他の教育関係者・団体が作成したデジタル教材を募集し，表彰する事業。

デジタル機器の活用と教育の情報化の進展に貢献することを目的として，優れた作品を広く教育関係者に紹介し，相互利用できるよう情報提供している。

(3) 表彰の種類

文部科学大臣賞，学情研賞，日本児童教育振興財団賞 ほか

２ ツールを開発した専門研究の概要

(1) 研究領域 情報教育

(2) 研究主題等 各教科等のねらいに即して実践する小学校プログラミング教育の推進

－「プログラミング教育スタートパック」の開発と活用の提言を通して－

(3) 専門研究員 渡邊敏博（塩竈市立月見ヶ丘小），滝深潔（山元町立山下中），大久保賢二（美里町立南郷中），蜂谷博則（角田支援学校）

３ その他

(1) 表彰式は，平成３０年７月２７日（金）に「虎ノ門ニッショーホール（東京都港区）」において行われた。

(2) 過去には，平成２７年度の総合教育センターの長期研修専門研究で開発したタブレット端末活用動画集「＋（プラス）タブレ」が，一昨年度の同コンクールにおいて「文部科学大臣賞」を受賞している。